

出前事情

劉 瑛

<食事はスマホで>

今年、大連は特別蒸し暑く、外出がとてつらい毎日が続いています。こんな時、特に便利なのがネット通販、中でも「外買屋（出前やデリバリーの注文を受けるアプリ）」がとて助かります。「外買屋」の発達のおかげで、スマートフォン一つで外出せずに、ほぼすべての食事・食品が注文でき、家あるいは指定場所まで配達してもらえることから、暑さ対策のみならず、お昼休み混雑するビジネス街の飲食店を避け、ゆっくり食事がとれるなどの利点も含め、大人気となっています。この出前サービスは「餓了嗎」（お腹がすいた？の意味）とO2O（オーツーオー）大手の「美团外買」の2社が主な運営会社です。

<豊富なメニューで出前迅速>

2社ともに、自社の商品を持っている訳ではなく、提携したレストランや商店、あるいは個人のメニューや商品を紹介し、お客様から注文があれば、代わりに商品を取りに行き、指定された場所に届けるシステムになっています。運営当初、提携相手は小さいレストランや個人が多く、商品も十分ではありませんでしたが、日を追うごとに、有名店の加盟や、食事だけではなく、果物等の取扱商品も増え、充実したラインナップとなってきました。また、通常注文してから30分～1時間以内（料理する時間による）に届けられ、通常、自分が通っているレストランに赴き、注文するのと遜色ない時間であることから、炎天下の中わざわざ外出する必要がなくなってしまいました。

<若者の運動不足に拍車>

最近では「コンビニからも商品を届けてくれる」サービスも始まり、便利さが売りのコンビニにさえ行く必要がなくなり、うちの子供も外に出なくてよくなったと喜んでいる始末です。特になにをするにもスマホで済ます最近の若者は、普段から運動不足で指以外は退化するのではと危惧していますが、この便利なサービスが始まり、さらに家でゴロゴロする若者が増えているのではと不安になってしまいます。

<外買屋の活用>

このサービスは豊富な提携店舗のメニューや商品を選択し注文できますが、それ以外も、手数料を払えば探して届けてくれ、とても便利です。しかしながら、このサービスでは提携店舗であっても店舗情報、例えば所在地や営業許可の取得状況、衛生管理の状況などの情報は提供されません。

現にうちの子供も夏休み中毎日、日本料理の定食を注文していましたが、どこにある日本料理店なのかも知らないようでした。

今のところユーザーは安くて美味しければ十分で、店舗情報に関心をもっていないようですが、食品の安全性への関心が高まるなか、今後は安心安全への取組が売上増のポイントとなってくるのではと思います。

日本食品や商品の中国での販売を考える際、この「外買屋」のサービスに日本食品等の持つ信頼性とヘルシーさ等の特徴が融合できれば新たなビジネスになるかもしれません。